

経営比較分析表（令和6年度決算）

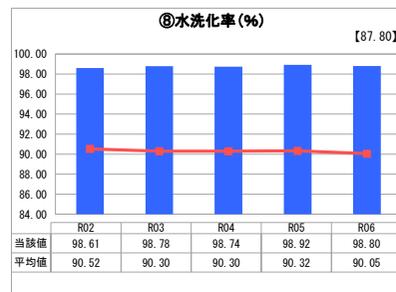
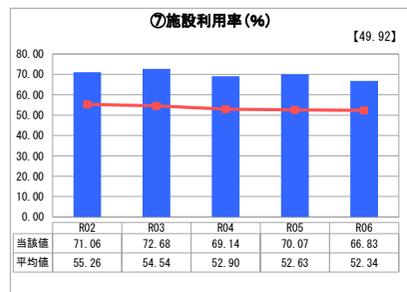
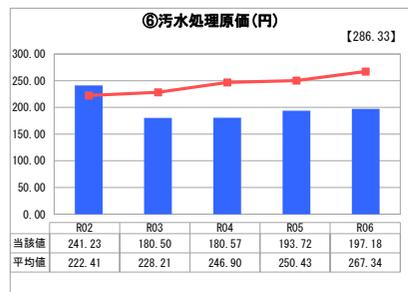
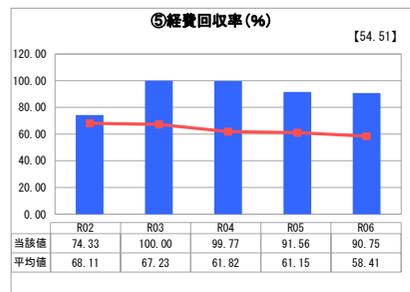
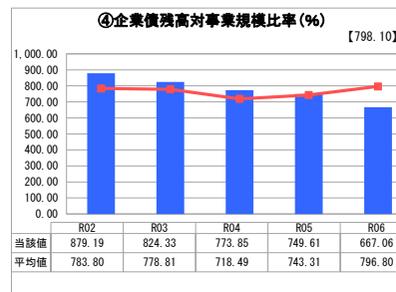
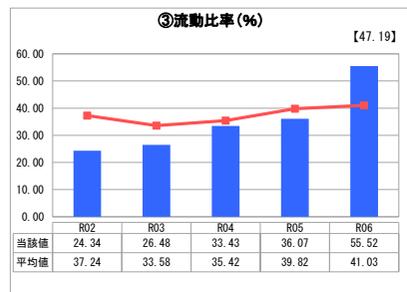
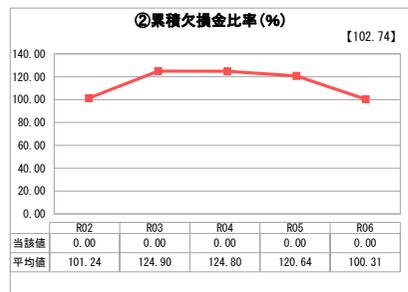
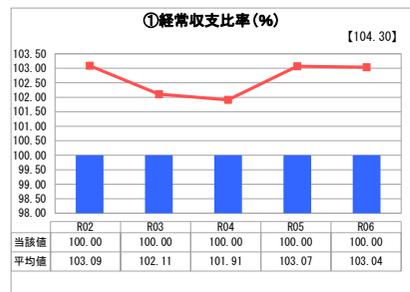
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.01	2.06	76.61	3,476

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
162,672	209.58	776.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,345	1.52	2,200.66

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

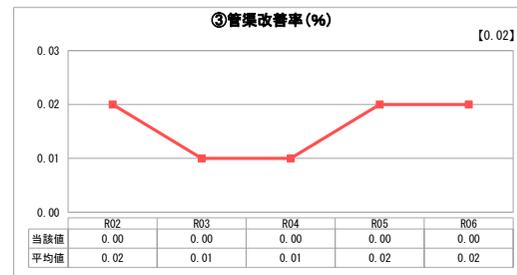
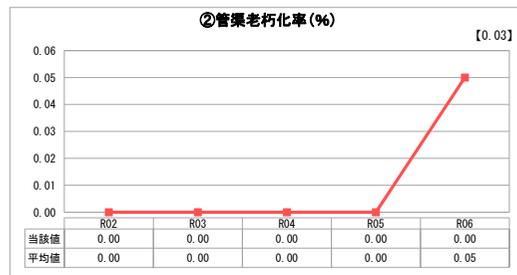
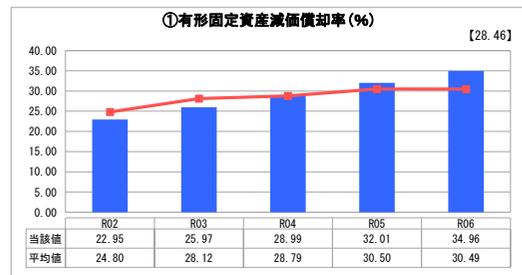
1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%を保持し、②累積欠損金は発生しておらず健全な経営状況にあると言える。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ③流動比率は、企業債の償還額が大きいことから100%を下回っているが、全国・類似団体平均よりも高い水準にある。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回っている。企業債の発行額を企業債償還額以下に抑制しているため、企業債残高は年々減少しており、今後も減少傾向で推移していく。
- ⑤経費回収率は、全国・類似団体平均を上回っている。今後も業務の効率化に努め、適切な使用料水準の維持を図る。
- ⑥汚水処理原価は、全国・類似団体平均を下回っている。今後も効率的な汚水処理の実施に努めていきたい。
- ⑦施設利用率は、全国・類似団体平均を上回っているが、人口減少により処理水量は減少傾向にある。今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ⑧水洗化率は、全国・類似団体平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、施設の老朽化が進行していることにより年々上昇している。全国・類似団体平均を上回っており、更新を行うことで改善を進めていく。
- ②管路老朽化率は、事業着手が比較的低いため、法定耐用年数を超えた管路はないことから0になっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

- 経常収支比率は100%であり、概ね健全な経営状況にあると言える。しかし、企業債償還金の負担が大きいため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。
- 今後、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれることから、流域下水道への接続を検討するなど、効率的な事業運営に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管路老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。